

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	26	記録内容のポイントを職員間で共有できていないため、より良い生活(より良い計画作成)に繋がる記録になっていない。	「より良い生活(より良い計画作成)に繋がる記録のポイントを職員間で共有し、統一できる」	・ケアプラン内容の共有を図る。 ・記録内容について、「何をどのように書くことが求められるのか」ポイントを整理し、指示する。	12ヶ月
2	18	体操や散歩、手先を使った活動等、午前・午後の主だった時間の過ごし方について、職員から利用者にお誘いし、取り組まれることが多い。	「午前・午後の主だった時間の過ごし方について、利用者の声から何をするのか決める」	・午前・午後の主だった時間の過ごし方について、何をしたいか利用者にお聞きし、その声に沿った過ごし方をして頂く。(利用者の声を引き出し、その声から暮らしをはじめる。職員ペース→利用者ペースへ)	12ヶ月
3	53	リビング等の共有空間について、それぞれの利用者にとっての心地よい居場所ができていない。	「一人一人の利用者にとって心地よい居場所ができる」	・一人一人の利用者にとって心地よい居場所作りをする。利用者と相談しながら(声に出せない方はご様子を見ながら)一緒に作っていく。 ・仮説→実施→評価を繰り返す。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。